

8月26日(火)から **南アフリカ** に行ってきます。

“神々の花園”と呼ばれる短い時期だけに見られる神秘的な光景をとらえに、サファリ体験と野生動物との遭遇など、沢山の魅力ポイントが盛り込まれた『写真撮影ツアー』に同行するお仕事です。

アフリカの雄大な自然とスピリットを五感で体験しながら、撮影ツアーも進んでいくという充実の内容を楽しみにしています。

8/26(火)～9/06(土)までという長い撮影期間です。  
僕が楽しみにしている見どころをいくつか：

### クルーガー国立公園エリアでサファリ体験

アフリカを代表する野生動物保護区。約200万ヘクタールの広大な保護区にはビッグ5……ライオン、ヒョウ、象、サイ、バッファローが生息するサファリ・ファンも憧れる地。

絶滅危惧種のリカオンやクロサイ、ローラーカナリヤやサイチョウなども、まずはビッグ5との遭遇を夢見て、迫力の写真が撮れますように。野生動物の強さだけでなく、親子の暮らし、のような厳しいなかにも優しさを感じられるような写真が撮れたらいいな、と期待しています。

### ナマクワランド

南アフリカ南端ケープタウンの約600km北に位置するナマクワランド。  
毎年8月末から9月初旬の約3週間だけに見られる春の魔法、“神々の花園”と呼ばれる光景を撮りに行きます。



ココが砂漠って信じられないですね。

冬の間降った雨の恵みを受けて、荒々しいナマクワランドの大地には、突然色彩が爆発したかのような、見渡す限りオレンジ、ピンク、白、黄色など鮮やかな花の絨毯が敷きつめられるそうです。その素晴らしさは“神々の花園”と呼ばれるほど神秘的な光景だという。この短いシーズンに咲き誇る約3000種の植物のうち、約半数が固有種。つまり、この短い限定シーズンにナマクワランドを訪れて見る花々は、この時、この場でしか見られない希少な光景と体験なのです。

### ケープタウン

歴史的な美港と背後のテーブルマウンテンが印象的な街。マンデラ氏が投獄されていた世界遺産ロベン島、アザラシの島、ペンギン、鯨ウォッチングなどの魅力。  
エレガントなビクトリア調ラグジュアリー・ホテル滞在も旅の最終地での大きな楽しみ、南アフリカ特産の美味しいワインや海の幸を堪能……期待が膨らみます。現地は冬なので「食」も楽しみです。

このページは【写真提供：南アフリカ観光局】にご協力いただいております。次にアップするときには、僕の写真で紹介しますね～。

